

令和4年度
幼児期からの運動習慣形成プロジェクト
(幼児期からの運動遊び普及事業)

事業成果報告書

令和5年3月
奈良県

1 事業実施の背景

幼児期からの運動遊びを通じた運動習慣づくりは、心身の健全な発達を促し、社会性を高め、さらに生涯にわたって楽しく、自発的に、継続的に運動・スポーツに親しみ、健康に生きることにつながると考えられる。そのため、奈良県では、これまでから幼児期の運動・遊びの普及に取り組んできた。

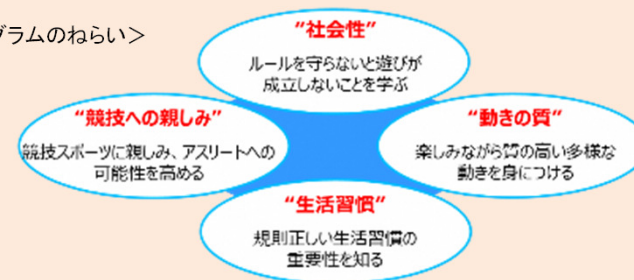
※奈良県におけるこれまでの幼児期の運動遊び普及にかかる取組

幼児向け運動・スポーツプログラムの策定・普及

年度	取組内容
H28	遊びやスポーツを通じて子どもたちの健康や社会性を高めるため、「幼児向け運動・スポーツプログラム」を策定
H29	県内の1幼稚園においてモデル的にプログラム実践
H30	県内の12幼稚園・保育所にモデル園・所を拡大して実践
R元	・プログラム実践マニュアル・DVDを作成し、県内幼稚園・保育所に配布(405箇所) ・県内幼稚園・保育所職員を対象に、講習会開催

奈良県幼児向け運動・スポーツプログラム

<プログラムのねらい>



<プログラムの構成>



運動・遊び



スポーツ



生活習慣

総合型地域スポーツクラブの育成・充実

- 子どもから高齢者まで、多世代を対象として活動する総合型地域スポーツクラブを、地域スポーツの重要な担い手と位置付け、積極的に支援。

就学前教育実践ガイドラインの策定

- 就学前教育実践のガイドラインとして、令和4年3月に「奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定。その中で、運動遊びの重要性や、総合型地域スポーツクラブにおける「幼児向け運動・スポーツプログラム」の活用検討について記載。

R2以降も、さらなるプログラムの普及に向けた取組を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、取組をほとんど進められなかった。他方で、感染症対策を徹底したうえでの身体活動実施に関するノウハウ蓄積が進み、幼児期の運動・遊び推進を再開できる状況に戻りつつあったことから、本プロジェクトに参画。

2 事業のねらい及び実施内容

(1)ねらい

「地域で」子どもたちが「継続的に」運動遊びを経験できる環境整備を推進する。

(2)実施内容

- ① 指導者向け講習会の開催
- ② 総合型地域スポーツクラブでの幼児向け運動・スポーツ・遊び体験会の開催
- ③ 保護者、保育者等への普及啓発を目的とする動画作成

3 各取組の内容及び成果

(1)指導者向け講習会の開催

【日時】令和4年12月1日 13:00～15:30

【場所】なら歴史芸術文化村 芸術文化棟体験ホール

【講義内容】

- 幼児期からの運動遊びの効果や重要性
- 良い指導者とは
- 「幼児向け運動・スポーツプログラム」を活用した指導方法 など

【参加者】

総合型地域スポーツクラブ指導者等 36名



○ 指導者に対する幼児期からの運動遊びの啓発

○ ベースを共有した指導者を育成・確保し、県全体で効果的な運動遊び普及を推進

(2) 総合型地域スポーツクラブでの幼児向け運動・スポーツ・遊び体験会の開催

【時期】令和4年12月～令和5年2月

【実施クラブ】15クラブ(14市町)

【体験会の内容】

- (1)の講習会修了者が講師となって実施
- 一部又は全部に「幼児向け運動・スポーツプログラム」を取り入れ
- 各クラブ4回以上開催
- 体験会の様子をもとに動画を作成・配信

【参加者】

全77回・のべ1,127名が参加



幼児向け運動・スポーツ・遊び体験会 開催回数・参加者数

団体名	市町村	体験会回数	のべ参加者数
一般社団法人くまがしクラブ	平群町	6	133
NPO法人川西スポーツクラブ	川西町	4	97
特定非営利活動法人香久山総合型スポーツクラブ	橿原市	5	117
一般社団法人五條スポーツガーデン	五條市	8	62
天理総合YYクラブ	天理市	6	41
一般社団法人リトルバイン総合型地域スポーツクラブ	生駒市	6	44
スポーツクラブ葛城	葛城市	4	41
特定非営利活動法人ホルベニルカシハラスポーツクラブ	橿原市	8	190
一般社団法人元気ひまわりクラブ三郷	三郷町	4	65
総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト	王寺町	4	79
特定非営利活動法人御所スポーツクラブ	御所市	5	80
NPO法人スケデットスポーツプランニング	奈良市	4	50
一般社団法人広陵ステーションプラス1クラブ	広陵町	5	38
NPO法人大和ふれあいスポーツクラブ	大和郡山市	4	58
特定非営利法人青垣すまいるクラブ	田原本町	4	32
合計		77	1,127

- 特定の地域に偏らず、幅広く運動遊びの機会を提供
- 総合型地域スポーツクラブの認知度向上、基盤強化
(本事業終了後も、自主事業としての継続を期待)

(3) 保護者、保育者等への普及啓発を目的とする動画作成

【動画の内容】

○本編

- 幼児期の運動遊びに関する現状と問題点
- 幼児期からの運動遊びの効果や重要性
- 奈良県での取組

などを親しみやすいイラストを使用して約3分にまとめた動画

○ショートバージョン

本編を基に、より手軽に視聴できるようにポイントを絞って約30秒に再編集した動画(2本)

【配信方法】

奈良県スポーツ振興課公式YouTubeチャンネルで配信

(2) 体験会で各クラブが編集した動画もあわせて配信



○ 継続的に普及啓発を図るためのツールとして活用

○ さまざまな体験会の様子の動画と組み合わせることで、相乗効果を期待

4 体験会参加児童等の声

(1) 体験会参加児童

- ・ いっぱい遊べて楽しかった。また明日も遊びたい。
- ・ いろいろなことができて楽しかった。また参加したい。
- ・ 友だちができてよかった。

(2) 保護者

- ・ 遊びの中に様々な要素が含まれていることを知った。子どもたちはたくさん遊びを経験することが重要だと思った。
- ・ 子どもが家に帰るなり、「楽しかった」と言ってくれた。保護者としてもうれしく、もっと応援したくなった。
- ・ 地域で新しい友だちと出会える場になりよかった。
- ・ 地域で運動できる環境が少ないため、継続的に実施してほしい。

(3) 指導者

- ・ 短い時間の中でも子どもたちの成長が見られ、やりがいを感じた。
- ・ 幼児期は、きっちりと運動として教えられるより、「遊び」で動いている方が楽しいということが実感できた。
- ・ 今回の経験を活かし、今後も子どもたちの運動・スポーツ・遊びの推進に貢献できるような取組に携わりたい。

(4) クラブ

- ・ 今後も幼児を対象とする教室等の開催を検討したい。ただし、自主事業として開催する場合、参加者数と講師謝金のバランスや、会場確保などの課題が想定される。
- ・ 幼児のみを対象として、遊びを通して運動することをテーマに実施したことで、どのような内容であれば幼児がより楽しく遊べるかという点が見つめたように思う。
- ・ 今後も、よりよい幼児向け教室運営のため、講師間での情報共有や、定期的な講習会などの取組が必要だと感じた。

5 取組を振り返って

(1) 良かった点

- ・ 14市町、15クラブで計77回の体験会を開催し、幅広く運動遊びの体験機会を提供できた。参加者や関係者からも概ね好評を得た。
- ・ 体験会実施クラブにとっては、地域に対する自クラブのPR、クラブ同士の情報交換、幼児向け教室実施や動画作成のノウハウ蓄積等につながった。
- ・ 講習会参加者に、実地に指導する機会を提供することができた。
- ・ プログラムを活用することで、指導経験が少ない人材でも指導者を務めることができた(プログラムの有用性を再確認)。

(2) 改善が必要な点

- ・ 地域に参加を呼びかけて実施する場合、もともと運動遊びに興味・関心のある幼児・保護者の参加が多くなっている可能性がある。興味・関心があまりない幼児・保護者へ訴求する仕組みづくりが必要。
- ・ 幼児を対象とするため、安全確保のため人員配置を増やすクラブが多かった。自主事業として実施する場合、多くの人員を配置すると、参加料が高くなることが想定される。コストを抑えつつ、参加者の安全を確保できる体制の検討が必要。

(3) 今後に向けて

- ・ 本プロジェクトを通じて、県や総合型地域スポーツクラブ、指導者が多くのことを経験できた。ねらいとする「地域で」「継続的に」運動遊びができる環境整備のため、関係者が今回得られた経験を活かし、不断の取組を行っていく意識を持つ必要がある。
- ・ 来年度の本プロジェクトへのエントリーはもちろんのこと、それ以外でも、普及啓発動画等を活用し、さまざまな機会を捉えて関係者や保護者、保育者へ働きかけを行っていく。

6 結び

今回のプロジェクトへの参加は、コロナ禍で取組が進んでいなかった幼児期からの運動遊び普及をリスタートするよいきっかけとなった。奈良県では、県としての理念を明確にしてスポーツ推進に取り組むため、「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」を制定し、令和5年4月から施行する。条例中でも、県として幼児期からの遊びを通じた運動の習慣化支援などに取り組むこととしており、今後も幼児期から子どもたちが運動遊びをできる環境整備に積極的に取り組んでいく。